



昭和 31. 1. 15

第 6 号

目 次

年 頭 の 辞..... 1

関係法令 法律, 政令, 省令, 規則, 告示..... 1

学内規程 学則中一部改正..... 2

 一般教育課程履修規程中一部改正..... 2

人 事 人事異動..... 2

部局情報 経済学部及び付属図書館建物の建設
進ちよく状況について..... 3

 硫酸焼鉱の処理とその設備について... 3

 昭和30年度科学教育研究室研究生の
修了について..... 4

日 誌 主要日誌..... 4

年 頭 の 辞

学長 石原 寅次郎

本学は、発足以来七年目の新春を迎えたわけであるが、一年一年を追うて充実発展しつつあるこれはあらゆる関係者各位の協力の致す所と感銘に堪えない。しかし大学の欲する内容及び施設等の整備充実は、なお概ね今後に残されている。この点に関しては今年も関係者各位の協力を得て、強力に推進したいと思う。

教官各位は学問の最高水準を目指して鋭意研究に没頭されている。その成果は学生の教育及び指導の面に現われておると共に、現実の学術及び文化の向上発達をもたらしている。特に新進の諸君が着々業績を重ねておられることは誠に慶賀にたえない。大学は教育、研究、及び研究者の養成を使命とするからである。

学生諸君が所定の単位を修得し卒業して就職するという事は無論大切なことであるが、一步進んで積極的な意慾をもつて、充分に実力を養うと共に、科学的に思考し研究する態度を身につけてほしいと思う。これがためには教官各位と常によく接しよくして充分な指導を受けられるよう特に要望したい。

大学に学んだものに必要な条件はその研究能力と将来性にあるのである。教室内の活動と相まつて、課外の文化、体育等の自発的活動の面においても、又豊かな明るい学園生活を展開して、大学教育の達成と健全な学風の樹立に邁進されたい。社会は諸君にこれを要請しておるのである。

(富山大学学生新聞より転載)

関 係 法 令

法 律

法律第184号 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律 30.12.14官報

政 令

政令第303号 所得税法施行規則の一部を改正する政令 30.11.10官報

省 令

大蔵省令第66号 所得税法施行細則の一部を改正する省令 30.11.10官報

大蔵省令第67号 国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令 30.11.10官報

規 則

人事院規則9~20 俸給の支給定日の特例を制定する件 30.11.26官報

告 示

文部省告示第103号 教育職員免許法により大学の正規の課程を免許状授与の所要資格を得させるため適当な課程として認定する件 30.12.20官報

文部省告示第104号 教育職員免許法の一部を改正する法律付則第4項等の規定により大学の正規の課程を高等学校教諭仮免許状に係る所要資格を得させるため適当な課程として認定する件 30.12.20官報

文部省告示第105号~106号 教育職員免許法により大学の聴講生の課程を免許状授与の所要資格を得させるため適当な課程として認定する件 30.12.20官報

文部省告示第107号 教育職員免許法の一部を改正する法律付則第4項等の規定により大学の聴講生の課程を高等学校教諭仮免許状に係る所要資格を得させるため適当な課程として認定する件 30.12.20官報

文部省告示第109号 博物館法第5条第2項等の規定により学芸員補の職に相当する職またはこれと同等以上の職を指定する件 30.12.28官報

文部省告示第110号 博物館法施行規則第6条第2項に規定する試験認定の試験科目に相当する科目の試験を免除する講習等を指定する件 30.12.28官報

文部省告示第111号 昭和30年度における学芸員資格認定実施要綱を定める件 30.12.28官報

学 内 規 程

学 則 中 一 部 改 正

(昭和30年12月2日評議会)

学則の一部を次のように改正する。

別表(第2)の人文科学関係の学科目中「芸術」を「音楽・美術」に改める。

付則中第1条を次のように改める。

第1条 本学則は昭和30年10月1日から実施する。

一般教育課程履修規程中一部改正

(昭和30年12月2日評議会)

一般教育課程履修規程の一部を次のように改正する。

第2条第1項第1号中「芸術Ⅰ(音楽), 芸術Ⅱ(美術)」を「音楽, 美術」に改める。

付則中「昭和30年7月1日」を「昭和30年10月1日」に改める。

人 事

官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
文 部 教 官 (富山大学教育学部附属中学校教諭)	布 村 清 太 郎	富山大学講師(教育学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	昭和30.11.10
文 部 教 官 (大阪大学教授 産業科学研究所)	湯 川 泰 秀	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和30年12月10日までとする	昭和30.11.15
	垣 内 祐 三	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和30年12月30日までとする	昭和30.11.20
	小 塩 高 文	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	昭和30.12. 1
	岡 本 清 一	講師(富山大学経済学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
	太 田 正 行	講師(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (福井大学助教授 工学部)	加 藤 三 千 夫	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和30年12月21日までとする	〃
文 部 教 官 (京都大学教授 文学部)	井 上 智 勇	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (東京大学助教授 教養部)	野 島 正 城	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和30年12月31日までとする	〃
	栃 折 健 次	作業員(富山大学庶務課)に採用する 任期は昭和31年1月31日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学教授 工学部)	横 山 辰 雄	富山大学工学部長に併任する 任期は昭和32年12月14日までとする	昭和30.12.15
文 部 教 官 (富山大学工学部長)	〃	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年12月14日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学教授 教育学部)	溝 上 茂 夫	富山大学教育学部附属中学校長の併任を解除する	昭和30.12.16
〃	〃	富山大学教育学部附属中学校長に併任する 任期は昭和32年12月15日までとする	〃
〃	〃	富山大学教育学部附属小学校長に併任する 任期は昭和32年12月15日までとする	〃
〃	〃	富山大学教育学部附属幼稚園長に併任する 任期は昭和32年12月15日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 教育学部)	酒 井 康 彦	富山大学教育学部附属小学校長の併任を解除する	〃
〃	〃	富山大学教育学部附属幼稚園長の併任を解除する	〃

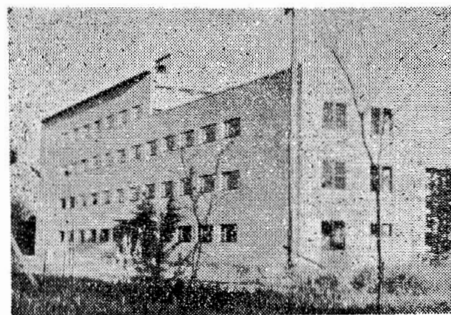
部局情報

経済学部及び付属図書館建物の建設進ちよく状況について

昭和29年11月28日の起工式以来着々建設工事中の経済学部及び付属図書館の建物（鉄筋コンクリート4階建）1,111坪は目下室内及び廊下、階段等の舎内装置に全力をあげ工事の進ちよくも目覚ましく、30年12月をもつて完成し、富山大学に新たな威容を加へ12月14日第一期工事竣工式が五福構内にて挙行された。

引き続き3か年計画に基く昭和31年度計画は1,331坪二階建校舎が完成することに決つています。

以上の建設工事が昭和31年度に完成した暁には日本海沿岸における唯一の経済学部と、ヘルン文庫をもつことによつて有名な富山大学付属図書館の白壁を誇る新校舎が富山大学集中地域である五福構内にその雄姿を現わすことと思ひます。



硫酸焼鑛の處理とその設備について

工学部金属工学教室 森 棟 隆 弘

先般文部省から化学研究促進補助金を受けたので学報にその事についての内容説明をしたらどうかと話を受け、私もその義務がある様に思つたので一筆掲載させて頂く次第である。

此の研究費の申込みは時期も少し外れて居たので或は取り易いのでは無いかと考えていたが蓋を開けて見ると意外に難かしく、200余件も出て居て僅か23件しかパスしなかつた様だつた。その間学長や事務局長にも本省へ説明とか種々の点でお世話に成つた。又審査員の一人であり、且つ本実験の指導的位置にある東京大学の小川芳樹教授の御援助も大いに役立つたのであり、此処に謝意を表し度い。

硫酸焼鑛に関する研究について、筆者は昭和10年の秋頃から始めてをり、鉍物としての性質、産出、存在状態、浮遊選鉍による脱銅、硫化鉄鉍を焙焼した場合又焼鉍を再焙焼した場合の変化、各種の酸液、アルカリ液による侵出、焼鉍を強加熱して亜鉄酸銅を生成せしめて磁選する方法等について研究していた。又、之等を処理し脱銅したものは良い鉄鉍石ではあるが粉状であるので、それを固める為にペレットと言う結合剤を加えて加熱する方法も研究していた。その後、含有している稀元素の研究に移り数種の元素の抽出、回収について実験した。従つてこれらの実験で学会や學術振興会へ出した報告は総計24報告となつてをり、最も元氣の良い時代を一心にこれに打ち込んできたと言う事が出来る。

元来硫酸焼鉍は硫酸工場で硫化鉄鉍から亜硫酸ガスを取り硫酸を造つた残鉍で、鉄分は55%前後で中には60%に達するものもあり此の点では高品位鉍であるが、銅が含まれている為に、此のまま鉄を造つた場合、圧延、加工すると割れてしまつて使いものにならないので、今迄は少量だけ輸入鉄鉍石の配合剤になるに過ぎなかつたが、現在では此の研究を利用して数個所に工場が出来て稍配合率が増したが、未だ充分な処理はしていないので優良鉍としての成分に迄なつて居るものは無い。これは筆者が最近研究している様な方法を使へば輸入鉄鉍とほぼ等しい成分になるし特に含まれる燐の点ではそれ以上優良なものにする事が出来る。勿論之等の方法は、工業的採算を考へての事であるが、要はそれ程生産費をかけずに処理が可能になり、稀元素又は高価元素であるタリウム、ビスマウム、カドミウム、コバルト等の回収が能率良く出来る様になつた事である。従つて之等の方法は完全処理が出来る様になれば今迄顧みられなかつた之等の諸元素も回収される事となる。

此の処理方法を外国のものとは比べて見ると、歐洲では銅を含む硫酸焼鉍が多く、ラーメン法と言うのが古くから行われている。これは工業塩を混合して焙焼する方法で、中々優秀な方法であり稀元素回収しているが、我国では工業塩の価格が高く、この工場も大阪にあつたが、終戦後は復活していない。筆者等の今度の方法は此の方法の改良法で、成るべく再焙焼等をしないで処理しようというので、実験室では良い結果が出ているが、何うしても中規模的な設備をして試験せねばならないし、又今迄の実験では設備不足のため解明出来なかつた部分も調べなければならない

今回の研究費で購入する設備は鉾石の濕式処理をする浸出槽、沈下槽、オリバーフィルター、各種の鉾石粉砕機、選鉾機械、廃液回収設備、ペレット製造設備等で浸出系統の自動制御にはかなり力を入れる予定になっている。

之等の内オリバーフィルター試験機は誇り得る機械で他大学には無いもので、一流鉾山会社でも欲しがっている鉾石と液との分離試験機である。又予算が許せば分光光度計を買入れて各種の精密な分析を行い度いと思つている。

之等実験設備の規模については一日で百疋を目標としているが、学校で大型の設備をすると運営や実験に困るので本省と打合せの結果、小人数で動かし得る範囲のものとする事として設計を進めて居り既に部分的に発注している。

本実験には従来は実験室の小規模な実験であつた関係上講座内で池田、平沢、高畑君等の他学生等が手伝つていた

のであるが、今度室町、加藤、四谷、大井、酒井、位崎、中川、高辻等の諸先生の応援を受けて実験をしており百疋程の建物を貰い受けたので将来は工学部の研究所に迄持つてゆこうと頑張つている。猶、又一步進んでこれが富山大学の総合研究所の核にでもなれば、これ程嬉しい事は無いと思う。

昭和30年度科学教育研究室研究生の修了について

昭和30年度富山大学科学教育研究室は、昭和30年5月16日定時制による研究生13名を收容し、昭和30年12月15日をもつて6か月（8月を除く）の課程を修了したので、12月17日修了式を挙行しそれぞれ修了証書を授与した。

研究生、指導員の氏名、研究題目等次表のとおりである

昭和30年度富山大学科学教育研究室一覽

室 長	学 長	石原寅次郎
主 事	学生部長	岡 本 基

学 部	学 科 目	研 究 生				指 導 員	
		勤 務 学 校	職	氏 名	研 究 題 目	職	氏 名
文 理 学 部	歴 史	氷見市 氷見東小学校	教諭	橋 本 芳 雄	越中庶民信仰史	教 授	高 瀬 重 雄
	〃	高岡市 二塚小学校	〃	野 村 庄 一	庄川と二塚を中心とした地域 社会の変せん	〃	〃
	国 語	新湊市 新湊 東部中学校	〃	内 田 茂	上代の歌謡の研究	〃	大 島 文 雄
	化 学	高岡市 高陵中学校	〃	鈴木久仁子	有機化合物の二三の合成実験	〃	福 井 憲 二
	〃	氷見高等学校	〃	石 上 芳 子	調理科学に関する二三の実験	講 師	桑 田 秋 水
	生 物	西礪波郡 山田小学校	〃	高田栄左衛門	一般生物の食用化に関する研究	教 授	植 木 忠 夫
	〃	小杉高等学校	〃	高野喜八郎	放射線処理による染色体異常 について	助教授	小 林 貞 作
地 学	富山市 山室中学校	〃	牧 堯 信	マイオシオン、プライオシオン の化石についての研究	〃	近 藤 堅 二	
教 育 学 部	数 学	滑川市 中加積中学校	〃	石 田 徹 夫	数学における学習指導の評価 と利用について	〃	松 為 周 従
	〃	富山市 山室小学校	〃	寺 林 喜 一	中学校、小学校における式の 発展と指導	〃	〃
	化 学	新湊高等学校	〃	渡 辺 俊 男	尿素・ホルマリン系反応におけ る初期生成物の顕微鏡的研究	〃	蜷 川 栄 作
	音 楽	下新川郡 上原小学校	〃	嶋 田 嘉 子	器楽合奏指導法について	講 師	大 沢 欽 治
	農 業	下新川郡 入善中学校	〃	竹 内 清 一	蜜蜂の貯蜜に関する研究	助教授	高 森 乙 松
計		文理学部 8名 教育学部 5名	} 13名			文理学部 7名 教育学部 4名	} 11名

主 要 日 誌

11.26	第10回補導協議会開催	12. 2	第6回富山大学、高等学校連絡協議会開催
〃	富山大学運動部代表者会開催	12. 6	昭和31年度入学者選抜学力検査問題作成科目主任委員会開催
11.28	事務協議会開催	12. 9	教科書検定調査委員連絡協議会開催
11.30	事務協議会開催	12.14	経済学部校舎第一期工事竣工式挙行
12. 1	共済組合大蔵省年次監査	12.16	事務協議会開催
2		12.17	富山大学科学教育研究室修了式挙行
		12.23	体育部会開催